

ポケットに入る凧を作って凧揚げをしよう！

～骨なしスレッドカイト～

昔はお正月になるとよく凧揚げをしたそうです。私たちが知っている凧の他にも、数十人がかりで揚げる大凧から、たくさんの糸をあやつって自在に飛ばすスポーツカイトなどいろいろなものがあります。世界中には、いろいろな形の凧揚げの文化もあります。今回は折りたためばポケットに入ってしまう、骨のないぐにゃぐにゃ凧（ラムスレッドカイト）を作って飛ばしましょう。

【材料】

- ・45リットルくらいのポリ袋（最近はずごく薄くなっている。できるなら厚手がよい。）
- ・セロハンテープ
- ・タコ糸、（糸目糸（160cm））
- ・つまようじ

【道具】

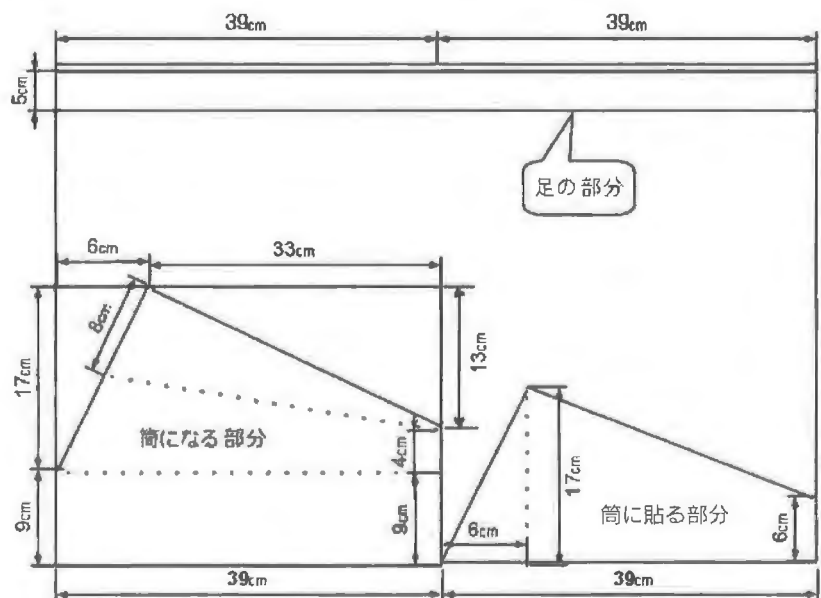
- ・はさみまたはカッター ・定規
- ・穴を開けるもの

骨なしぐにゃぐにゃ凧は筒状のところは骨の役目をしていて、風を受けて凧がつぶれないようになっています。

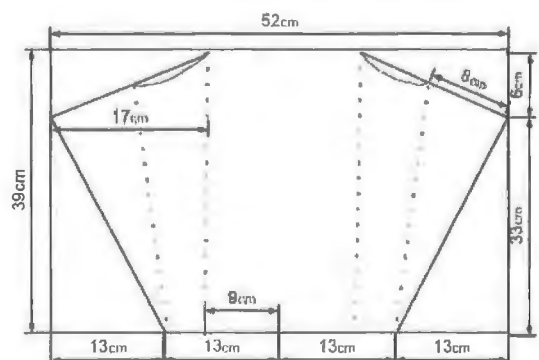
1 作り方

- （1）ポリエチレンの袋に線を引く。（袋をピンと張って油性ペンやボールペンで力を入れず軽く描く。）
- （2）はさみやカッターを使い寸法どおりに凧になる形を切り取る。
 - ・凧本体は袋状の部分を利用して切り取る。
 - ・筒に貼る部分は袋状になっているので、2枚に分ける。
 - ・足になるところは後で切り取る。

（他の物で代用するともう1つ凧ができる。）
- （3）筒に貼る部分のポリシートを筒になる部分の点線部分にセロハンテープまたは両面テープで内側と外側から貼り付ける。
 - ・小さいテープで仮止めをしながら、中心の方から貼っていくとよい。



ほねなしぐにゃぐにゃたこ本体の寸法

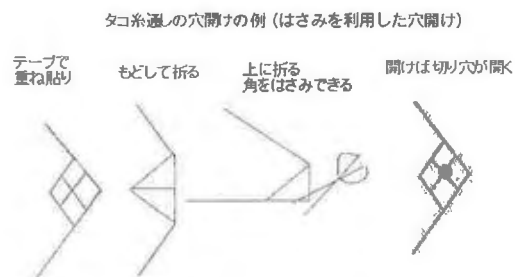


64×48cmや60cm×45cm等でも可能。
基本は64×48の比率の拡大・縮小がよい。

(4) 筒になるところの部分を深さ2cmくらいの円弧になるように切り取る。
 ・2つに折って重ねて切り取ってもよい。

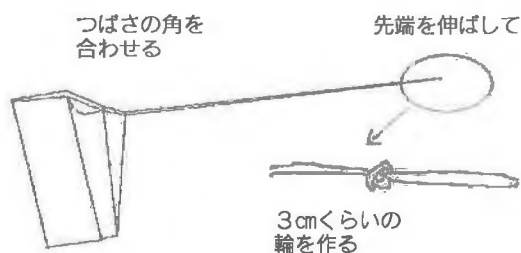
(5) 凧のつばさの先はセロハンテープで重ね貼りしてから穴を開ける。

(6) 約160cmの糸目糸の両端をつまようじ(2cmくらいに折ったもの)に結び、左右のつばさの先の穴に通して取り付ける。(取れないようにしっかりテープで重ねて表裏を貼り付ける。)



(7) 足になるところをテープで左右の下側に貼り付ける。

(8) バランスを取り、凧糸を付ける。(このとき、バランスが取れていないと、凧揚げをしたときうまく揚がらない。)



(9) 揚げ糸を作った輪に結び付ける。

2 揚げ方

☆完成したらさっそく揚げてみましょう。

(うまく揚がらなかったら左右の糸の位置を調節するとよい。)

○凧揚げのときの注意

- ・電線のない広いところで揚げる。
- ・風の強い日には揚げない。
- ・周囲の人や物に気を配る。
- ・凧糸の摩擦で手にケガをすることがあるので糸を出すときには急に出さない。

※できた凧に絵を描いて、自分だけの凧に仕上げましょう。

※スーパーのレジ袋を使うと、スーパーの宣伝凧ができあがります。

※比率(横:縦=4:3)さえ変えなければ大きさのちがう凧を作ることができます。

※ポリ袋だけでなく農業用ポリマルチ、障子紙、不織布、ビニルハウス用ビニルなどいろいろな物で試すことができます。

参考

・PPしろろの理科実験のページ

<http://ppsirou.web.fc2.com/rika/gunya2.html>

・月刊かがくのとも「スーパーのレジぶくろでつくるほねなしカイト」

1999年1月号(通巻358号)福音館書店